

梅雨前線に伴う降雨による防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、7月18日3時00分、寒河江川流域の志津雨量観測所、鮭川流域の小又雨量観測所及び、赤川流域の枡形雨量観測所において、降り始めからの連続雨量が80mmを超えたため、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月18(木) 3時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(7月18日 3時00分現在)

[寒河江川流域]

志津雨量観測所 連続雨量85mm(降雨継続中)

[鮭川流域]

小又雨量観測所 連続雨量90mm(降雨継続中)

[赤川流域]

枡形雨量観測所 連続雨量82mm(降雨継続中)

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

調査課長 荒澤 慎一(内線351)